

# 住宅用火災(煙式)・CO警報器

自動試験機能付 住宅用火災警報器 検定合格品  
一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品

型式名 SC-325T

## 取扱説明書 [保証書付]

このたびは、住宅用火災(煙式)・CO警報器(以下、警報器という)をお取り付けいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



### 警報器の機能について

- 火災による煙を感じて音声で警報を発する機能や、住宅で発生する一酸化炭素(以下COという)を検知して音声で注意報を発する機能を持っていますが、火災の発生や住宅におけるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
- 火災やCOの発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 換気扇などにより煙が吸引され、煙が一定濃度以上にならないときは、火災警報機能が動きません。
- CO検知部にCOが到達しないときは、CO注意報機能が動きません。
- 警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。また、取付場所近くでのCOには注意報を発しますが、他の部屋で発生したCOには注意報を発しないことがあります。
- 消防法で定める住宅用火災警報器として設置できます。
- 消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。

## 新コスモス電機株式会社

〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4

HP URL <https://www.new-cosmos.co.jp/>



お問い合わせ先	新コスモス電機(株)サポートセンター 0120-035-937 または 03-6625-7051	電話受付時間 9:00~17:00 平日のみ ※当社指定休業日を除く
---------	--	---

## 1. 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。  
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

- 危険** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合」が想定される」内容を示します。
- 警告** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
- 注意** 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容	
	「一般的な禁止」事項を示しています。
	「分解禁止」事項を示しています。
	「水ぬれ禁止」事項を示しています。
	「必ず行う」事項を示しています。

## 危険

火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

- 必ず行う** 火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。
- 必ず行う** 消火が不可能なときは、避難してください。



CO注意報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。CO濃度が上昇し、短時間で生命が危険な状態になるおそれがあります。

- 必ず行う** 注意報音の鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中の燃焼機器を止めてください。



※原因が特定できない場合は避難してください。  
部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

禁止

## 警告

- 分解禁止** 分解や改造はしないでください。故障の原因となります。
- 禁止** 衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 必ず行う** 警報器の取り付け、取り外し、定期点検、異常時の点検・処置などを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。転落・転倒・落下によるケガのおそれがあります。

- 必ず行う** 定期的(1ヶ月に1回程度)警報停止スイッチを操作して、警報器が正常に動作するか点検をしてください。また、1週間以上留守にされたときは、警報器が正常に動作するか点検をしてください。
- 禁止** ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。火災や故障の原因となります。

## 注意

- 禁止** 取付位置を移動させないでください。火災警報やCO注意報の遅れの原因となります。取付位置を変える必要が生じたときは、販売店にご相談ください。
- 禁止** 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。火災警報やCO注意報の遅れの原因となります。
- 禁止** 取付ねじ1本で壁面に取り付けられている場合は、引きひもを手前方向に引っ張らないでください。警報器が落下するおそれがあります。
- 禁止** 警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。聴力障害などの原因になるおそれがあります。
- 必ず行う** 設置後、10年(交換期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。正常に動作しないおそれがあります。

- 水ぬれ禁止** 警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。故障の原因となります。

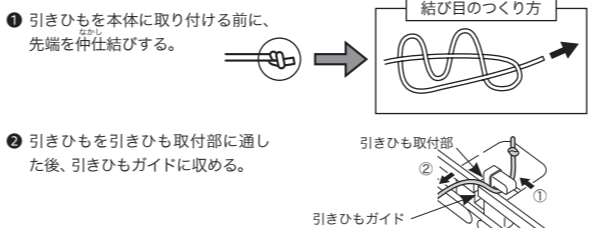
- 禁止** 引きひもを引いて火災警報音を停止するとき、および定期点検をするときは、強く引いたり、ぶら下がったりしないでください。警報器の落下や、ひも切れまたはひもが外れるおそれがあります。

## 2. 各部のなまえとはたらき

- 緑(お知らせ)ランプ** 電池切れや故障しているときは、緑ランプが10秒おきに1回または3回点滅します。定期点検時の警報停止スイッチ押し時緑ランプが点滅します。
- スピーカー** 火災警報音やCO注意報音が鳴ります。
- 煙感知部** 煙を感じます。火災などにより、警報器周囲の煙が一定濃度以上になると、それを感じて火災警報を発します。
- CO検知部** COを検知します。警報器周囲のCOが規定濃度以上になるとCO注意報を発します。
- 警報停止スイッチ** 警報停止スイッチを操作すると火災警報音を停止させたり、定期点検を行うことができます。  
★ 警報停止スイッチを押すことまたは、引きひもを引いて操作することができます。
- 黄(CO注意報)ランプ** COを検知すると1秒おきに1回点滅します。
- 赤(火災警報)ランプ** 火災警報時に赤ランプがスライド点灯します。
- 設置年月記入欄**
- 電池カバー** 内側に電池が収納されています。
- 検定合格証票** 住宅用火災警報器の検定に合格したことを示します。
- 合格証票** 一般財団法人 日本ガス機器検査協会の検査に合格したことを示します。
- 引きひも取付部** 引きひもを取り付けることで、警報停止スイッチと同じ操作ができます。引きひもは付属されていますので、お客さまで市販の引きひもをご購入ください。
- 火災連動出入口端子部** 火災連動仕様の警報器を接続することができます。

## 引きひもについて

推奨ひも 市販の照明用スイッチひもなど (太さφ0.7~1.0mm程度)



- 引きひもを取り付けた後は、数回引きひもを引き、正常に操作できることを必ず確認してください。

### 注意

引きひもを取り付けるとき、取付部が引かれて警報音が鳴ることがありますので、注意してください。(監視状態の場合)

■ランプのつきかたについて  
取扱説明書中のランプの点滅は次のように動作します。

点滅	点滅周期
1秒おきに1回点滅	1秒
電池切れ点滅	10秒
故障点滅	10秒おきに3回点滅

## 3. 商品のご確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

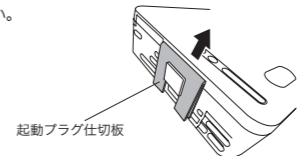
警報器本体…1個		
取付フック…1個		取付ねじ…1本
石膏ボードピン…3本		取扱説明書(保証書付)…1冊

## 4. 警報器の取り付け

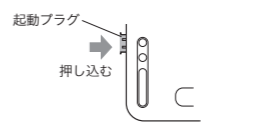
### 4-1 取り付ける前に

#### 電源を入れる

①起動プラグ仕切板を取り除いてください。



②起動プラグを押し込む。(電源投入)

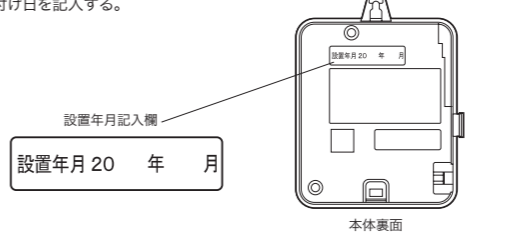


※ 起動プラグを押し込むと「ビッ」が鳴り、約30秒稼働(お知らせ)ランプが点滅した後、全てのランプが点灯し、「警報器正常です」とお知らせします。



### 警報器本体への設置年月の記入

本体裏面の設置記入欄に、お取り付け日を入ります。



### 4-2 取付位置の確認

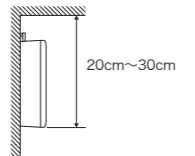
#### 注意

正しい取付位置に取り付けてください。取り付けがはけない場所に取り付けると、火災警報およびCO注意報の遅れ、誤作動、故障の原因となります。

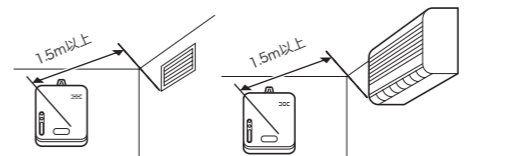
### 正しい取付場所について

※ 設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、市町村条例で定められています。各市町村によって設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

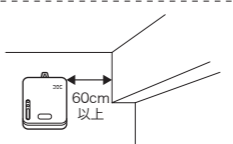
- 警報器のスイッチ(点検・警報音停止兼用)が操作しやすく、ランプが見やすい位置に取り付けてください。
- 警報器の底面が天井面下20cm~30cmまでの範囲にくるように取り付けてください。



- 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。



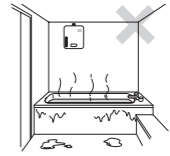
- たれ壁やはりから60cm以上離してください。



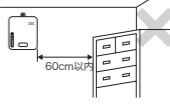
### 取り付けがはけない場所について

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けしないでください。誤作動や警報の遅れの原因になります。

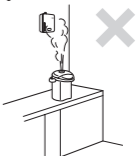
- 温度が0℃~+40℃の範囲をこえる場所。
- 屋外。
- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつか場所、結露する場所。感電や電氣的故障の原因になります。
- カーテンウォールなどで仕切られた場所。



- タンスなどから60cm以内の場所。



- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所、車庫など。



### 4-3 取り付けかた

#### 注意

- 取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けしないでください。
- 取り付けには、両面テープを使用しないでください。

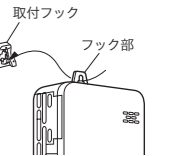
### 警報器の取り付け

#### ■取付フックで取り付ける場合(石膏ボード壁専用)

#### 注意

- ビンを指に刺さないように、取り扱いには十分注意してください。
- 取付フックにピンを差し込むときは穴が硬いので十分注意してください。
- 取付強度を保持するため、ピンは根元まで確実に打ち込んでください。
- 万一、ピンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてピンを付け直してください。

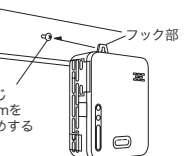
- 取付フックを壁面に押し当て、位置決めピンを垂直に打ち込む。
- 取付フックを垂直位置にした状態で、取付フックの固定ピン(左右2箇所)を斜めに打ち込んで固定する。



- 本体のフック部を、取付フックに引っ掛ける。

#### ■木ねじで取り付ける場合

- 木ねじ(16mm)を途中までねじ込み、仮止めする。  
※ コンクリート壁の場合は、市販のカールプラグを打ち込んで木ねじを使用してください。
- 仮止めした木ねじに、本体のフック部を引っ掛ける。
- 木ねじを締め付け、本体を固定する。

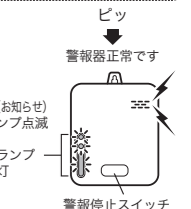


### 4-4 動作確認のしかた

#### 警告

- 禁止** ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。火災や故障の原因となります。

- 警報器が警報動作中や警報音停止中ではないことを確認する。
- 警報停止スイッチを約1秒間押す。「ビッ」と鳴り、緑(お知らせ)ランプが点滅した後、すべてのランプが点灯し、「警報器正常です」となるまで正常です。  
※ 以下の異常などがなければ確認できます。
  - ・煙感知部の異常
  - ・CO検知部の異常
  - ・電源異常



## 5. 警報音・注意報音が鳴ったときの処置のしかた

『**ウーウーカンカンカン 火事です 火事です**』と鳴ったときの処置のしかた

【赤(火災警報)ランプがスライド点灯】または【赤(火災警報)ランプがスライド点灯と黄(CO注意報)ランプが点滅】

## 危険

消火が不可能なときは、避難してください。



警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が止まり、ランプが消灯します。

### おねがい

火災以外の煙などで火災警報を発している場合でも、黄(CO注意報)ランプの点滅の有無を確認してください。
※ 火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるCO注意報は発しません。

## 2『ウーウーピッポッピッポッー酸化炭素を検知しました 危険です 危険です』と鳴ったときの処置のしかた

【黄(CO注意報)ランプが点滅】

- 燃焼機器を使用している場合は、使用を中止し、ドアや窓を開けて換気してください。
- 原因が特定できない場合は、避難してください。
- ※ COがなくなれば、CO注意報音が停止します。

## 3 火災やCO以外で火災警報音やCO注意報音が鳴ったときの処置のしかた

〈火災警報音や CO 注意報音を止めたいとき〉

火災警報音は警報停止スイッチを操作してください。警報音を停止させることができます。
※ CO注意報音は警報停止スイッチで注意報音を停止させることはできません。

## 1 ドアや窓を開け、しばらく換気続ける。



## 2 火災警報音の場合は警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音は停止します。

CO注意報音の場合は警報器周囲COが規定濃度以下になると注意報音は停止します。

以下の原因が考えられますので、調べてください。

〈火災警報・CO注意報共通〉

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤を大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が直接かかっていませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。

〈火災警報〉

- 湯気が直接かかっていませんか。
- 調理の煙や水蒸気などが警報器にかかっていませんか。
- 砂、ホコリ、虫などが警報器の煙感知部に侵入していませんか。

## 噴霧式殺虫剤を使用するときのご注意

### 注意

警報器を取り付けている部屋で殺虫剤(くん煙式、加熱蒸散式なども含む)を使用すると警報器が鳴動する場合がありますため、本体を取り外し殺虫剤がからない場所に一時避難してください。

噴霧が終わったら、換気後、必ず元の位置に戻してください。

## 6. その他のお知らせ機能について

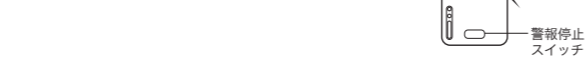
**電池切れお知らせ機能**  
電池切れが近づくと、「ピッ 電池切れです 販売店に連絡してください」と鳴り、緑(お知らせ)ランプが電池切れ点滅します。その後、約50秒ごとに「ピッ」でお知らせします。そのとき、警報停止スイッチを約1秒操作すると、「ピッ 電池切れです 販売店に連絡してください」とお知らせします。以後、「ピッ」は停止します。
※ 音声停止中に警報停止スイッチを操作すると、「ピッ 電池切れです 販売店に連絡してください」とお知らせします。
※ 「ピッ」音は夜間の寝室でも動作しますのでご了承ください。

### 故障お知らせ機能

故障していると、「ピッピッピッ 警報器故障です 販売店に連絡してください」と鳴り、緑(お知らせ)ランプが故障点滅します。その後、約50秒ごとに「ピッピッピッ、約1時間ごとに「ピッピッピッ警報器故障です 販売店に連絡してください」でお知らせします。そのとき、警報停止スイッチを約1秒操作すると、「ピッピッピッ警報器故障です 販売店に連絡してください」とお知らせします。以後、「ピッピッピッ」は停止します。
※ 音声停止中に警報停止スイッチを操作すると、「ピッピッピッ警報器故障です 販売店に連絡してください」とお知らせします。
※ 電池切れまたは故障お知らせ中であっても、煙やCOを検知した場合、火災警報・CO注意報を発します(煙感知部、CO検知部が故障している場合を除きます)。

### 交換期限お知らせ機能

設置から10年経過してから警報停止スイッチを約1秒操作すると、「交換期限を過ぎています 販売店に連絡してください」とお知らせします。



## 7. 定期点検

正常に動作することを確認するために、1ヶ月に1回程度定期点検を行ってください。

## 警告

1週間以上留守にされたときは、必ず警報器が正常に作動するか点検をしてください。留守中の電池切れ警報を、確認できないおそれがあります。

- 警報器が火災警報・CO注意報動作中や警報音停止中ではないことを確認してください。
- 警報停止スイッチを約1秒操作すると「ピッ」が鳴り、緑(お知らせ)ランプが点滅します。警報停止スイッチから手を離す。
  - 全てのランプが点灯し、「警報器正常です」と鳴ると正常です。
  - 過去10日以内に警報(火災・CO・故障・電池切れ)があった場合、最後に発した警報をランプ表示でお知らせします。(下記の(鳴動原因表示機能)参照)
※ 熱中症/乾燥ランプが点滅しているときに警報停止スイッチを押すと、「警報器正常です」のあとに熱中症または乾燥おしらせの音声がかかります。

警報の種類	緑ランプ	赤ランプ	黄ランプ
火災警報	—	1秒全点灯	—
CO注意報	—	—	1秒点灯
故障警報	1秒点灯	—	—
電池切れ警報	1秒点滅	—	—

※ 電源投入後約25分間は、この機能が働きます。
※ 警報器が電池切れまたは故障している場合、この機能は働きません。

## 8. お手入れのしかた

警報器側面のスリット(煙感知部)にホコリやくもの巣がつくと、正しく警報しない場合があります。

警報器がより良い状態で動作するようにお手入れをおすすめします。

- 警報器を取り外してください。(「9.警報器の取り外し・取り付けかた」参照)
- 警報器および取付部付近の壁面または天井面の汚れをふき取ってください。布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。
- 本体の表面がよく乾いてから取り付けてください。(「9.警報器の取り外し・取り付けかた」参照)
- 本体を取り付けてから、正常に動作することを確認してください。(「7.定期点検」参照)

### おねがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使うと、警報器本体の表面を傷めることがありますので使用しないでください。
- お手入れ後、煙感知部に異物(糸くず、水など)が残っていないか確認してください。

## 9. 警報器の取り外し・取り付けかた

■取付フックの場合  
〈取り外しかた〉  
本体を持ち上げて矢印の方向へ取り外す。

■木ねじの場合  
〈取り外しかた〉  
木ねじをゆるめる

〈注意〉  
警報器を強く引っ張ると取り付けている木ねじが抜けたり、木ねじから警報器が外れたりして、落下するおそれがあります。

## 10. 廃棄について

警報器を廃棄する場合は、お住まいの市町村の廃棄物の処理方法に従ってください。
※ 必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。

### 古くなった専用リチウム電池の取り外しと廃棄

- 警報器を取り外してください(「9.警報器の取り外し・取り付けかた」参照)。
- 専用リチウム電池を取り出してください。
- 専用リチウム電池を廃棄してください。
  - ※ この製品に使用している電池は、「一次電池(リチウム電池)」です。一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、廃棄方法は各自治体の指示に従ってください。

## 警告

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテーブなどを巻いてください。

リチウム電池の廃棄を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあり、ケガをしたり、火災に至るおそれがあります。

## 11. 故障かな?と思ったら

<p>下記の点検・処置をしても異常があるときは、販売店にご連絡ください。</p>	<p><b>こんなときは</b></p> <p>約10秒間隔で緑(お知らせ)ランプが点滅している。</p>	<p><b>ここを確認して</b></p> <p>警報停止スイッチを操作したとき、「ピッ 電池切れです 販売店に連絡してください」のメッセージが鳴る。</p> <p>警報停止スイッチを操作したとき、「ピッピッピッピッ警報器故障です 販売店に連絡してください」のメッセージが鳴る。</p>	<p><b>こう処置してください</b></p> <p>電池が消耗しています。お買い求めの販売店までご連絡ください。</p> <p>警報器の故障が考えられます。お買い求めの販売店までご連絡ください。</p> <p>しばらく(約5分間)待ってからもう一度警報停止スイッチを操作してください。</p>
<p>警報停止スイッチを操作しても音声警報が鳴らない。</p>	<p>警報音鳴動時に警報停止スイッチを操作しても音声警報が鳴らない。</p>	<p>原因を調べてください。(「火災やCO以外で火災警報音やCO注意報音が鳴ったときの処置のしかた」を参照)</p>	<p>しばらく(約5分間)待ってからもう一度警報停止スイッチを操作してください。</p>
<p>火災の発生ではないのに、火災警報音が鳴る。または、COの発生ではないのに、CO注意報音が鳴る。</p>	<p>原因を調べてください。(「火災やCO以外で火災警報音やCO注意報音が鳴ったときの処置のしかた」を参照)</p>	<p>ドアや窓を開け、しばらく換気を行ってください。火災警報音やCO注意報音が止まります。煙感知部にうちわ、ドライヤー(冷風)などで風を取り除いてください。それでも止まらない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。</p>	

## 12. アフターサービスについて

- この警報器の保証期間はご購入日から1年間です。保証書をご参照ください。保証書に取り付け年月および販売店名の記入のないものは、無効となることがあります。お取り付け時にご確認ください。保証書は大切に保管してください。
- 設置から10年経過した警報器は、規定の濃度で警報しないなど誤動作のおそれがあります。新しい警報器とお取り替えください。
- 警報器に異常がある場合は、「12.故障かな?と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店にご連絡ください。
- 設置場所の環境や点検頻度などにより、電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池について  
電池切れになったときは、販売店にご連絡ください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店までご連絡ください。

## 13. 仕様

項目	仕様	
型式名	SC-325T	
電源	専用リチウム電池 CR17450ES	
電池寿命 <sup>※1</sup>	約10年	
定格	DC3V,300mA	
使用温度範囲	0℃～+40℃(結露しないこと)	
寸法	W85×H100×D30mm(突起部を除く)	
質量	約145g(電池含む)	
付属機能	故障お知らせ機能、電池切れお知らせ機能、交換期限お知らせ機能	
火災警報機能	種別	光電式住宅用火災警報器(CO反応式)
	感知方式	煙感知方式
	型式	電池方式、2種、連動型、自動試験機能付
	表示・発報方式	即時警報型・自動復帰式 赤(火災警報)ランプスライド点灯、音声合成音(70dB(A)/m以上)
CO注意報機能	火災連動入出力	相互鳴動用火災連動入出力 有極性 即時警報型・自動復帰式 監視時入力(DC30V以下) 警報時出力(DC1.2V以下、100mA)
	検知対象ガス	住宅で発生する一酸化炭素(CO)
	検知方式	電気化学式
	公称作動濃度	100ppm
表示・発報方式	即時警報型・自動復帰式 黄(CO注意報)ランプ点滅 音声合成音(70dB(A)/m以上)	

※1 ご使用の環境・条件などによって短くなる場合があります。

<p><b>保証書</b></p> <p>本書はお買い上げ日から下記期間中に故障が発生した場合に、本書記載の内容で無料による交換をお約束するものです。</p> <p><b>警報器型式 SC-325T</b> <b>保証期間 お買い上げ日から1年間</b></p> <table border="1"> <tbody><tr> <td>お買い上げ日</td> <td>年 月 日</td></tr> <tr> <td rowspan="2">お客さま</td> <td>ご住所</td></tr> <tr> <td>お名前</td></tr> <tr> <td rowspan="2">販売店</td> <td>電 話 (       )       -      </td></tr> <tr> <td>住所・店名</td></tr> <tr> <td></td> <td>電 話 (       )       -      </td></tr> </tbody></table> <p>(保証者) <b>新コスモス電機株式会社</b></p> <p>(無料交換規定)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>取扱説明書、本体に表示の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料交換をさせていただきます。無料交換をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店まで申し付けください。</li> <li>本書に定める保証の範囲は機器本体(専用電池を含む)とします。機器本体以外に生じた損害は、本保証書に定める保証の対象ではありません。</li> <li>保証期間内でも次のような場合には原則として有料交換となります。 <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 使用上の誤り、不適当な修理、および分解、改造されたことによる故障、および損傷。</li> <li>(2) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下衝撃などによる故障、および損傷。</li> <li>(3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常温度、異常雰囲気、異常電圧等による故障および損傷。</li> <li>(4) 一般家庭用以外(例えば業務用設備、車両、船舶など)に使用された場合の故障、および損傷。</li> <li>(5) 過度な頻度で警報器を点検したことにより電池が消耗した場合。</li> <li>(6) 取付場所が不適切で、調理の煙や湯気、ホコリなど、住環境による警報発生により電池が消耗した場合。</li> <li>(7) 本書のご提示がない場合。</li> <li>(8) 本書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合。あるいは字句を書き替えられた場合。</li></ol></li> <li>本書は日本国内のみ有効です。</li> <li>本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。</li></ol> <p>※ この保証書は、保証期間内に本書に示す条件において無料交換をお約束するものです。 ※ この保証書によって、保証書を発行している者(保証者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。 ※ This warranty is valid only in Japan.</p>	お買い上げ日	年 月 日	お客さま	ご住所	お名前	販売店	電 話 (       )       -	住所・店名		電 話 (       )       -
お買い上げ日	年 月 日									
お客さま	ご住所									
	お名前									
販売店	電 話 (       )       -									
	住所・店名									
	電 話 (       )       -									

# 火災連動入出力機能 説明書

対象機種 住宅用火災（煙式）・CO警報器 SC-325T  
快適環境おしらせ 住宅用火災（煙式）・CO警報器 SC-725T

## 1 連動したときの基本動作

### ●警報元が火災警報を発したとき

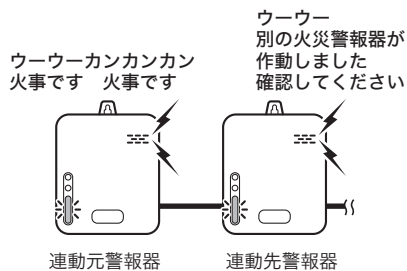
連動先の火災警報器が「ウーウー 別の火災警報器が作動しました 確認してください」が鳴ります。

警報元の警報器の警報停止スイッチを押すと、警報音が鳴りやみ、赤（火災警報）ランプが消灯します。

同時に連動先の火災警報器の音声も鳴りやみ、ランプも消灯します。

※ 連動先の警報器の警報停止スイッチを押したとき  
警報停止スイッチを押した連動先の警報器の音声のみ鳴りやみます。警報元の火災警報音声は鳴りやみません。

〈警報元の警報器周囲の煙が一定濃度以下になっていない場合〉  
5分後に再び火災警報を発します。



## 2 火災連動入出力の接続方法

接続作業は、連動させる警報器の説明書も参照ください。

① 警報器側面の端子カバーを外してください。

② 別売の接続用リード線（型式：LL-01）に、他の警報器のケーブルをつなぎます。

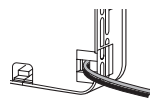
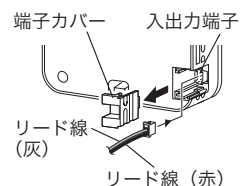
接続する警報器の極性を確認のうえ、リード線（赤色）には+側を、リード線（灰色）には-側を接続してください。

※ 接続部は、必ずビニールテープなどで短絡保護してください。

③ 接続用リード線を、警報器の入出力端子に接続してください。

④ 端子カバーのノックアウト部をニッパなどで切り欠いて、端子カバーを警報器に取り付けます。

⑤ 製品に同梱されている取扱説明書の「4-3 取り付けかた」に従って、警報器を壁面に取り付けてください。



※ 最大 10 台まで接続可能です。

※ 接続には専用の接続用リード線（別売品：LL-01）が必要です。

※ 線を延長する場合

推奨する電線…AE 線：φ 0.65mm 以上、

VCTF 線：0.5m<sup>2</sup> 以上

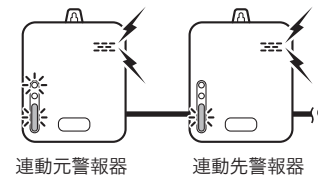
延長可能距離…最大 50m

## 3 火災連動の定期点検方法（設置時点検）

- ① 警報停止スイッチを操作すると緑ランプが点滅し、「ピッ」と鳴り、そのまま 3 秒間操作し続けてください。  
「ピッピッ」と開始音が鳴り、火災連動出力が出力されます。
- ② 赤ランプがスライド点灯して、「ウーウーカンカンカン 火事です火事です」と火災警報音が鳴り、黄ランプが 1 秒おきに 1 回点滅して、「ウーウーピッポッピッポッ 一酸化炭素を検知しました 危険です 危険です」と CO 注意報音が鳴ります。  
※このとき、連動先の警報器も警報音が鳴ります。

ウーウーカンカンカン  
火事です 火事です  
ウーウーピッポッピッポッ  
一酸化炭素を検知しました  
危険です 危険です

ウーウー  
別の火災警報器が  
作動しました  
確認してください



- ③ 1 分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態に戻ります。

※ 1 分以内に点検を終了したい場合は、警報停止スイッチを約 1 秒間操作すると、終了します。

※ 連動先の警報器の警報音が鳴りやみます。

専用接続用リード線（型式：LL-01）の購入は、弊社までお問い合わせください。